

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 583

所管部局	総務部	所管課	総務課	担当者名	河原林 正和
事業名	防災推進事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	防災推進事業			政策体系	262
会計	一般会計	科目	9. 消防 - 1. 消防 - 4. 防災		

1. 事業の概要

災害時防災用備蓄品の購入と住宅耐震診断調査の委託及び防災パトロールの実施。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

災害に備えて、食料等の備蓄品や災害救助物品等を充実させる事業。震災に備えて、住宅の耐震化を推進することにより被害の軽減を図る事業。市内危険箇所を把握することにより、改修等の優先順位や改善計画を検討するとともに、改修事業の基礎資料とするための事業。

② 事業を実施する必要性

災害に備えて、食料等を備蓄することや住宅の耐震化を推進すること、関係機関を含めて災害危険箇所を点検することは必要不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	1,562	1,360	481	1,902	1,370	2,630	2,630
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	105	210	42	546	610	1,410
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,457	1,150	439	1,356	760	1,220
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.21	0.24			
人件費	千円	—	—	1,172	1,753			
事業費総額	千円	—	—	1,653	3,654			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

災害備蓄品等の購入	1,002,654円（消耗品費）
木造住宅耐震診断の実施	728,000円（調査委託料）
防災パトロールの実施	15,620円（消耗品費）

5. 事業結果の概要

災害備蓄品の購入
木造住宅耐震診断 26件
危険箇所の調査把握

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 防災パトロール		
防災パトロールの実施	平成21年5月28日	<p>●実施箇所 園部管内：2箇所 八木管内：2箇所 日吉管内：3箇所 美山管内：2箇所</p> <p>●決壊、浸水等のおそれがあり、人命、住家に被害を与えることが予想される箇所(危険度B)：8箇所●決壊、浸水等のおそれがあり、田畑、山林等に被害を与えることが予想される箇所(危険度C)：1箇所</p>
(2) 耐震診断		
木造住宅耐震診断事業（診断士派遣）の実施	平成21年4月～平成22年3月	実施件数：26件
(3) 備蓄品		
非常食及び衛生用品購入事業の実施	契約 平成22年3月25日 納品 平成22年3月31日 検査 平成22年3月31日	アルファ米：1,500食 肌着セット：100個

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

防災備蓄品については、有事の際に備え今後も年次計画で継続した備蓄品の購入が必要である。また、住宅の耐震診断についても啓発に努めるとともに耐震改修につながっていく取組が重要である。防災パトロールについても毎年実施しているが、市内の危険箇所を各組織が共通認識をもつことが重要であり、有効な事業である。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
災害救助物品の不足補充について
- ②当該事業のアピール事項
安心安全のため災害等の未然防止や災害に備えた対策として重要な事業
- ③反省点、今後の展開・方向性等
防災パトロールでの危険箇所の確認に伴い、具体的な改善方法も併せて検討願う。